

緊急代表者会議開催!



青年部の皆さんが主役です!

9月30日、第35回定期委員会を緊急代表者会議に切り替え、青年部員と議論してきました。冒頭、青年部長の挨拶で「地本青年部間の議論不足により、全青年部の運動という目的が明確になっておらず、定期委員会を延期せざるを得なかった」ことに触れ、「青年部員は年齢的に対象がいなくなって減少している現実」「要求実現と組織拡大は両輪であって、青年部員の組織拡大が必要である」「千葉地本1000人組織の実現のためには役員だけでなく、組合員全体が一体となり運動をつくり出さしていかなければならない」など述べられました。

討論では以下の3点の視点で議論しました。

・なぜ東労組に所属しているのかい?

「会社に対して一人では立ち向かえない」「東労組に関わらせてくれた先輩たちに恩返しをしたい」「組合が悪いという雰囲気があるが、自分たちは悪いことをしていない。寧ろ、そのような雰囲気があること自体憲法的にも法律的にもおかしい」「選択を委ねてくれて信用できると思ったから東労組にいる」

・組織拡大に向けて、どのように考えて実践しているのか?

「当事者意識が欠けていた、元青年部役員としてもっと携わるべきだった」「青年部内で完結しようとしてしまっていた、地本執行部や本部、他地本と連携して行なっていくことが組織拡大に繋がっていく」「自分たちで取り組む部分・連携する部分を明確にすべき」「仕事をしながらの運動。得意不得意もある。場を作る人、決意させる人など役割分担して行なっていくことが大切」

・この一年間の運動を振り返ってみて、定期委員会以降はどのようなことをやるべきか?

「青年部だけでレク・忘年会・旗開きなど開催するのも良いのではないか」「若手ほど情報誌をよく見ている、最低でも月1は発行すべきではないか」「青年部で夏季手当・期末手当・春闘の交渉報告会を実施してみてもどうか」等の意見を頂いて...



を全参加者で確認しました!

・この一年間で青年部のあり方を議論していくこと

・組織強化、組織拡大を職場や系統を超えて連携して行なっていくこと

11月11日の第35回定期委員会に結集し、

本音の討論で定期委員会を成功させよう!!